

下川町地域間交流施設がオープンします

南町に
現在建設中

地域間交流施設って何？

この施設は、下川町の恵まれた自然環境を背景に、町や団体などが実施している下川町らしい森林体験、農業体験メニューや利用者自らが体験することのできるメニューなどを提供し、都市住民が心身ともにリフレッシュしていただくとともに、町民との交流を促進し地域の活性化を図ることを目的に設置するものです。

町では、都市住民と町民との交流による地域の活性化、地域内消費拡大による商店街の活性化、リピーターによる定住や2地域居住への発展などを期待しているところであり、滞在型観光の拠点施設として積極的にPRしていきたいと考えていますので、町民皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

今年度交流棟6棟建設、
来年度に5棟建設予定

管理人を募集します

■募集職種及び人員
非常勤管理人 2人

■資格 町内在住者

■勤務場所 地域間交流施設

■勤務期間 平成18年12月1日から平成19年3月31日まで

■賃金 月額5,460円

■勤務内容 施設管理及び清掃業務

■申込期日 11月17日(金)

■市販の履歴書を左記まで提出してください。



お問い合わせ

商工林務課商工観光振興グループ

☎ 4-2511内線235

みなさん！ごみは資源ですぞー！

限りある資源を大切に！
埋立ごみ分析調査実施

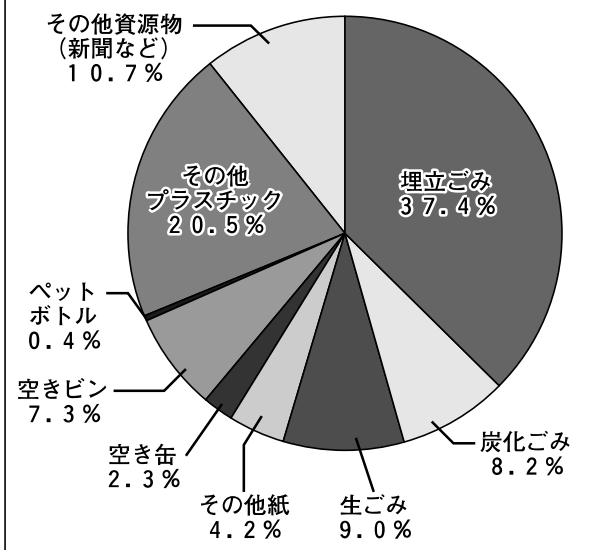
皆さんが普段分別して出している埋立ごみの中身を町で分析しました(図1)。

その結果、資源ごみが多く見受けられ、特に多かったのは「その他プラスチック」で、全体の重量の21%を占めました。そのほかにも生ごみ、炭化ごみ、更にはビン、缶、ペットボトルと分別されていない袋が目

立ち、実質、埋立ごみは全体の37%しかありませんでした。

「洗うのが面倒くさい」、「埋立ごみなんだから何をに入れても良い」と言っている、は、いつまでもごみは減りません。ごみの減量化、最終処分場の延命のためにも、家庭ごみの分別を再度確認してください。

図1 埋立ごみ分析結果 (重量比)



あなたは気づいていますか？
『すてる軽さとひろう重さ』

秋の空き缶一斉回収運動 年度別実績表

年 度	平成18年度	平成17年度
参加人数	329人	286人
缶	1,352本	1,550本
ビン	192本	200本
P E T	474本	416本
その他(45ℓ)	57袋	63袋

お問い合わせ
税務住民課住民生活グループ
☎ 4-2511内線118

今年も皆さんのご協力のもと秋の清掃美化運動が9月25日から10月1日に、空き缶一斉回収運動が10月1日にそれぞれ実施されました。各公区から回収状況の報告をいただきましたのでお知らせします。ご協力いただいた皆さんありがとうございました。

秋の清掃美化運動・空き缶一斉回収運動実績報告